

## 思い出を自分たちの手で 平成17年 成人式記念事業実行委員会

成人式が行われた1月9日の朝、式典が始まる1時間以上前から、会場の体育センターには、着物姿やスーツ姿で受け付けの準備を進める新成人の姿がありました。この新成人が、約5か月間活動してきた成人式記念事業実行委員会の人たちです。

この実行委員会とは、自分たちの成人式を、自分たちで思い出に残るようなものにしようと、毎年その年の新成人と、サポートとして町青年団で組織されるものです。

今年の実行委員会は、各中学校から推薦された人を中心に11人が集まりました。話し合いの結果、近況報告や将来の夢を自由に書き込んでもらうメッセージボードの設置と、中学3年生当時の担任の先生からのビデオレターを作成し、会場で放映することを決めました。

ビデオレター作成では、15人の先生からメッセージをもらうため、放課後や休みの日に学校や自宅を訪問し、一人ひとりの撮影していただきました。実行委員は、「2か月半くらいかかり大変でしたが、当日みんながビデオを見ながら懐かしがっている姿を見たら、やつ

## 今月の輝ける星



てよかったなと思えました。」と話していました。

実行委員会に参加した感想を聞いてみると、「活動を通して他の中学校出身の友だちができたし、用意された成人式に参加するだけでも、少しでも関わられたことで思い出に残る成人式になりました。」と語ってくれました。サポートしてきた青年団は、「よく『今時の若者は...』という言葉が耳にしますが、自分たちが教わることも多く、しっかりと考えた実行委員の顔には、充実感と安堵感が満ちていました。」

一生に一度の成人式に、積極的に参加して「自分たちの成人式」にした実行委員の顔には、充実感と安堵感が満ちていました。

## 広報紙で見る上三川町50年

### 広報紙の大きさがB5版からA4版へ

この広報紙の大きさをみてみてください。この大きさがA4版です。広報紙の大きさは今までに2回変わっています。最初に町の広報紙が発行された時は、タブロイド版（一般の新聞紙の半分の大きさ）でした。このころは1枚の紙に両面印刷されたものでしたが、情報が多くなってくるとB5版（この広報紙よりもひと回り小さい）の冊子という形に変化しました。

平成5年4月号からは、現在の大きさA4版になりました。この年の3月号と比べるとページ数は同じ16ページ、つまり紙が大きくなると同時に文字も大きくなったのです。文字が大きくなることで、視力が弱い人でも読めるようになったことでしょう。

広報紙は、読者である町民の皆さんが、一人でも多く読むことができるよう、これからも様々な面で変化していくことでしょう。もし「このようにしたほうがいい」という意見・アイデアがありましたら、ぜひお聞かせください。



A4版で最初に発行された広報紙  
中身は文字や写真が大きくなり見やすくなりました